

セボンド

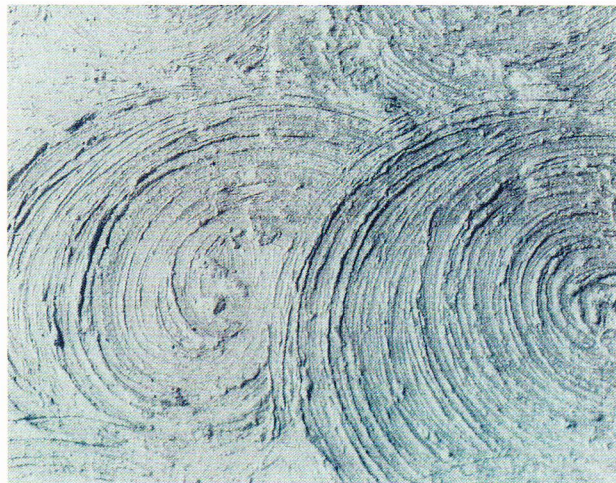
CREDENCE
クリディエンス株式会社

左官用多目的接着剤

概要

セメントは文字通り接着剤ですが、さらに高度の粘着力と強度をセメントミックスに与えるのが「セボンド」です。平滑緻密なセメント板、吸水性の激しいポーラスな ALC、古いコンクリートでも、「セボンド」を使用することで十分な付着力を得ることができます。

「セボンド」はシーラー、プライマー、プラスキー、モルタルの 4 通りの使用方法があり、現場条件と目的に応じて組み合わせて用います。新築、補修を問わず、広範囲の左官工事に利用できます。



用途

■ 内外壁

各種モルタルの接着、クラックや穴の補修、各種プラスター（石こう、ドロマイト、石灰）と漆喰の接着、各種吹きつけ塗料の下塗りシーラー

■ 床、陸屋根

各種モルタルの接着、薄層モルタルによる表面補修、クラックや穴の補修

性状

各種高分子ポリマーを基材とする乳白色液体

荷姿及び保管

20L/缶

未開封、冷暗所に保管して 6 ヶ月。

特長

- 多種多様の左官工事に不可欠の材料で、強力かつ恒久的な接着強度を発揮します。
- 特にプラスキー（目荒らし下地）は、英国の長い伝統で認められた最も確実なモルタル接着工法で、下地をはつる必要がありません。
- 「セボンド」は 2~6 倍に希釈して使えるので経済的です。
- 緊急工事には急結急硬化剤「クイックソクリート D」を併用して、大幅な工期短縮が可能。「クイックソクリート D」は防凍剤としても有効です。
- 引火性や毒性がなく安心して作業することが可能です。

安全衛生上の注意事項

- ・ 目や皮膚に付着しないようにゴーグル、ゴム手袋等を着用して下さい。
- ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合は直ちに清浄な水で洗い流して下さい。また、必要な場合は専門医の診察を受けて下さい。

作業方法

■ 下地準備

1. 「セボンド」溶液、プラスキー、モルタルの接着に適する下地は、コンクリート、モルタル、ALC、石材、タイル、れんがなどの健全な表面です。
2. もろい部分、ぼろつき、ダスト、カビ、苔、油脂分などを完全に除去してください。特に油脂の汚染は良質な洗剤で入念に洗浄してください。汚染が激しい場合には健全な下地が現れるまではつる必要があります。
3. 施ゆうタイル面は念のためサンダーをかけて目荒らししておいてください。

■ 「セボンド」の使用方法和施工可能面積

名 称	配合(容積比)	作 業 方 法	セボンド原液 1ℓ当りの およその施工可能面積
セボンド シーラー	セボンド 1 : 水 5 (A L C など吸水性の激 しい下地には 1 : 3)	刷毛で下地に刷り込むように塗り、ポーラス又は 粉っぽい面をシールする。	1 : 5 溶液 25 m ² 1 : 3 溶液 15 m ²
セボンド プライマー	セボンド 1 : 水 1	刷毛で下地に刷り込むように塗り、粘着性が出て から (約 20～30 分後) 所定のモルタルなどを施工 する。プライマーが乾いても接着性に支障はない。	5.0 m ²
セボンド プラスキー	セメント 1 : 砂 1～1.5 を セボンド 1 : 水 2 で硬練り したミックス*。	水打ちをした下地に硬毛ブラシまたはタワシでミ ックスを刷り込むように塗って目荒しする。でき るだけ毛羽立つように仕上げる。作業の翌日 から水養生を繰り返すと、3～5 日 (夏～冬) 後、 十分に硬化して下地に密着する。プラスキーの硬 化具合を確認した後、新しいモルタルを塗る。プ ラスキーミックスをそのまま 1～3 mm 厚にコテ押 えすることも可能。	4.5 m ²
セボンド モルタル	セメント 1 : 砂 2～3 を セボンド 1 : 水 2 で練る*。	水打ち又はシーラーを塗布した下地にモルタルを 塗りつけ、コテ当てにより面一に仕上げる。1 回の 塗り厚は 12 mm を超えないこと。	6 mm 厚 1.7 m ²

*工期を急ぐ場合や寒冷時には、計量水に 1 : 10 の希釈率で「クイックソクリート D」を混和します。
常温ではプラスキーとモルタルの硬化時間 (養生時間) が 1/2～1/3 に短縮されます。

注意事項

- 1) セボンドは雨の日や湿度 100% の場所では作業しないようにして下さい。ある程度の通風換気があり湿度が下がる状態ならば使用することができます。また、プラスキーやモルタルが乾燥によりドライアウトする恐れのある場合には、全面が白く乾いてから、その日の内に噴霧器等で湿らせておいて下さい。翌日からは通常の散水養生を繰り返して下さい。
- 2) プライマーのみをプールや水槽の内部など常時水面下となる場所には使用できません。
- 3) プラスキー及びモルタルは 1 時間以内に使用できる量のみを 1 回分として練って下さい。
- 4) 使用道具は作業後直ちに水洗いして下さい。
- 5) 作業可能温度は 4℃以上、製品の保管にも 4℃以上の場所を選び、凍結を避けるようにして下さい。

用途別標準仕様

用途 \ 工程		1	2	3	4
内外壁	一般モルタル塗り (20~30 mm厚)	セボンド・プライマー	セベックス 112 混和モルタル 2~3 回塗り (下塗り 1 : 4、中塗り及び上塗りは 1 : 5~6)		
	防水モルタル塗り (20~30 mm厚)	セボンド・プライマー 又はプラスキー	プロラピン混和 1 : 3 モルタルを 2~3 回塗り		
	薄層モルタルに よる表面補修 (4~12 mm厚)	セボンド・シーラー	セボンド・モルタル		
	薄層モルタルに よる表面補修 (1~3 mm厚)	セボンド・プラスキー ミックスのコテ押え			
	クラック、穴の 補修	セボンド・シーラー	セボンド・モルタル		
	各種プラスターと しつくい塗り (20~30 mm厚)	セボンド・プライマー	通常通りプラスター又はしつくいを施工		
床 陸屋根	一般モルタル塗り (25~30 mm厚)	セボンド・プラスキー	スクリーデックス混和 1 : 3~4 モルタルを 1~2 回塗り (30 mm厚以上を 1 回で塗る場合は豆砂利混入)		リトリン 2 回処理
	防水モルタル塗り (約 30 mm厚)	セボンド・プラスキー	プロラピン混和 1 : 3 モルタルを 2~3 回塗り		
	薄層モルタルに よる表面補修 (6~12 mm厚)	セボンド・シーラー	セボンド・モルタル	リトリン 2 回処理	
	薄層モルタルに よる表面補修 (1~3 mm厚)	セボンド・プラスキー ミックスのコテ押え	リトリン 2 回処理		
	クラック、穴の 補修	セボンド・シーラー	セボンド・モルタル		

関連製品

種 別	品 名	性状と荷姿	性 能 用 途	標準使用量
セメント用 急結急硬剤	クイック ソクリートD	液 状 18ℓ缶	原液を 10～20 倍の水に混和し、モルタル、コンクリートに使用。3～20 時間の範囲で凝結硬化時間の調節が可能。短時間に強度を増進し 28 日後で約 30%増大する。防凍剤 10 倍希釈で－6℃まで対応。左官工事でセボンドと併用する場合が多い。また、プロラピン・パウダーとの併用も可能。	
壁モルタル用 混 和 剤 (空気連行性)	セベックス 1 1 2	液状 18ℓ缶	空気連行によりモルタルの強度密度を適度に低下させることにより、クラックの発生を抑え、作業性を向上させる。セメントの大幅な節約が可能で、良質なモルタルを作ることができる。寒冷地では、凍結に対する抵抗性が上がる。	セメント 25 kg 当り 75～150 cc
床モルタル用 混 和 剤 (急硬性)	スクリーデックス	液状 18ℓ缶	作業性が向上する。減水効果により、クラックの低減、強度密度の増大を促す。養生期間も 1/2～1/3 に短縮可能。	セメント 25 kg 当り 夏 150 cc 春・夏 300 cc 冬 450 cc
セメント用 防水剤	プロラピン・ パウダー	白色粉状 18 kg 袋	セメント重量の 1%程度を添加することで、セメントペースト中に不溶性の不透水層を形成する。強度をほとんど低下させることなく水密性を向上させる。	セメント 25 kg 当り 250g
コンクリート床面 強 化 剤	リトリン	白色結晶粉状 15 kg 缶	浸透してコンクリート中の遊離石灰と化合し表面に安定した非常に硬い弗化カルシウムの層を作る。耐磨耗性に非常に優れ、ダストが発生しないので衛生的である。油脂、溶剤、塩類、弱酸等に強く、カビや苔の発生も抑える。	15 kg/150 m ² (2 回処理)

CREDENCE

クリディエンス株式会社

フォスロック日本総代理店

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-1-3-3F

TEL: 03-4590-0200 FAX: 03-3409-3898

URL: <http://www.crdc.co.jp> E-mail: crdc@crdc.co.jp



製造元:

Fosroc Global Trading Limited

改定日: 2009 年 11 月 1 日

本製品に関するお問い合わせ、ご用命は

発 売 元

建設材料コンサルタント

東 亜 貿 易 株 式 会 社

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目 大阪駅前第2ビル

電話 06 (6346) 0212(代) ファックス 06 (6346) 0226

URL <http://www.toaboeki.com> E-mail em@toaboeki.com